

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月9日

上場会社名 石光商事
 コード番号 2750 URL <http://www.ishimitsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森本 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 前田 繁幸
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 JQ

TEL 078-861-7828

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	28,656	—	△206	—	△366	—	△293	—
20年3月期第3四半期	28,403	3.0	100	△61.7	139	△51.0	△20	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△36.71	—
20年3月期第3四半期	△2.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	19,770	6,722	33.0	817.67		
20年3月期	18,750	7,264	37.7	884.14		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 6,533百万円 20年3月期 7,064百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,164	△1.3	△123	—	△313	—	△217	—	△27.18

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ定性的情報・財務諸表等4.その他をご覧ください

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 8,000,000株 20年3月期 8,000,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 10,150株 20年3月期 10,150株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 7,989,850株 20年3月期第3四半期 7,989,850株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機、それに伴う株式・為替・商品市場の急激な変動などにより、企業業績や雇用の悪化が顕著となり、所得の低迷に起因する個人消費の落ち込みなどにより、景気は急速に悪化してまいりました。

当社グループの主力マーケットである飲料・食品業界におきましては、景気的大幅な悪化とともに外食・個人消費がより停滞するなかで、食品表示の偽装問題や中国製食品における有害物質の混入事件など、食の安全性を脅かす事件が後を絶たず、食の安心安全がますます強く求められるようになりました。

このような状況の中で、当社グループは「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」を目指すべき企業像として掲げ、最適産地の発掘から製造、流通、販促提案、品質管理等の全ての工程に関わり合っただけでなく商品の価値を高めていく、いわゆるマーチャンダイジング活動に全力を注ぎ、「食」を通じて人々とともに喜びを共有できる企業を目指しております。また、当期は業績の回復を最重要課題として取り組んでまいりましたが、残念ながら当第3四半期連結累計期間にその成果をあげることができませんでした。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は28,656百万円（前年同期比0.9%増）と増加いたしました。当期は業績の回復を最重要課題として取り組み、損益面では、販売費および一般管理費において、前年同期比で役員報酬等人件費37百万円、運送料等物流費40百万円の削減、キャッシュ・フロー面では、前年同期比で在庫852百万円を削減いたしました。しかしながら、取引先の倒産により売上債権の取立不能の見込みが生じたため、貸倒引当金を販売費および一般管理費に487百万円、営業外費用に51百万円を計上いたしました。また、世界的な金融危機の深刻化による株価下落の影響により、確定給付企業年金の年金資産の時価評価が低下し、退職給付費用157百万円を販売費および一般管理費に計上いたしました。

そのため、営業損益は206百万円の損失、経常損益は366百万円の損失、四半期純損益は293百万円の損失となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における各品目別の売上高の状況は次のとおりであります。

コーヒー生豆の売上高につきましては、販売数量が減少したものの、相場上昇に伴う販売単価の上昇およびプレミアムコーヒーが順調に増加いたしましたことにより、3,753百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

飲料製品および原料の売上高につきましては、インスタントコーヒーが減少したものの、レギュラーコーヒーが微増し、飲料メーカー向け紅茶原料、家庭用紅茶ティーバッグおよび海外向けコーヒー飲料製品が増加いたしましたことにより、3,645百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

常温食品の売上高につきましては、メーカー商品の国内販売が減少したものの、海外の新規得意先増加により輸出が増加いたしましたことおよびマッシュルーム缶詰やコーン缶詰ならびにイタリアからの輸入パスタが増加いたしましたことにより、7,608百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

冷凍食品の売上高につきましては、冷凍調理加工品、食品メーカー向けのタコ加工品および外食店向けのエビ加工品が減少したものの、メーカー商品の国内販売および東南アジア向けの輸出が増加いたしましたことにより、7,800百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

食品原料の売上高につきましては、トマト加工品、メーカー向けフルーツ缶詰および国内産の生鮮野菜が増加したものの、小豆加工品、栗原料・栗甘露煮製品および輸入の生鮮野菜が減少いたしましたことにより、5,344百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

その他の売上高につきましては、503百万円（前年同期比47.8%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が19,770百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,020百万円の増加となりました。これは主に当第3四半期連結会計期間末の休日要因による売上債権の増加によるものであります。

負債合計は13,048百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,562百万円の増加となりました。これは主に当第3四半期連結会計期間末の休日要因による仕入債務の増加によるものであります。

純資産は当第3四半期連結累計期間において293百万円の四半期純損失となりましたことと繰延ヘッジ損益が104百万円の減少となりましたこと等により、前連結会計年度末に比べて541百万円減少の6,722百万円となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた現金および現金同等物（以下、「資金」という。）は363百万円となりました。

これは、主にたな卸資産の減少額747百万円および仕入債務の増加額1,015百万円等に対し、売上債権の増加額1,454百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は65百万円となりました。

これは、投資有価証券の償還による収入109百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は266百万円となりました。

これは、借入金の収支による支出134百万円および社債の発行による収入487百万円等によるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間末における資金は、前連結会計年度末に比べ644百万円増加し、2,131百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、平成20年11月11日に発表いたしました平成21年3月期通期業績予想(連結・個別)を修正しております。

詳細につきましては、本日発表しております「平成21年3月期 通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上総利益は19,688千円減少し、営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失はそれぞれ19,688千円増加しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,228,754	1,579,740
受取手形及び売掛金	7,133,890	5,679,421
商品及び製品	3,577,966	4,195,441
未着商品	486,887	615,579
仕掛品	12,546	7,916
原材料及び貯蔵品	57,180	63,520
その他	379,212	398,519
貸倒引当金	△120,918	△3,492
流動資産合計	13,755,519	12,536,646
固定資産		
有形固定資産	2,683,489	2,710,499
無形固定資産	17,243	14,716
投資その他の資産		
投資有価証券	2,842,814	2,966,683
その他	926,458	568,351
貸倒引当金	△467,765	△46,711
投資その他の資産合計	3,301,507	3,488,323
固定資産合計	6,002,239	6,213,538
繰延資産	12,771	—
資産合計	19,770,530	18,750,185

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,172,670	3,156,722
短期借入金	1,468,000	936,800
1年内償還予定の社債	70,000	—
1年内返済予定の長期借入金	974,608	1,027,004
未払法人税等	7,190	20,908
賞与引当金	41,072	107,969
その他	1,732,493	1,491,309
流動負債合計	8,466,035	6,740,714
固定負債		
社債	430,000	—
長期借入金	3,209,299	3,823,025
退職給付引当金	107,168	43,633
その他	835,731	878,538
固定負債合計	4,582,199	4,745,196
負債合計	13,048,234	11,485,910
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	357,000	357,000
利益剰余金	5,997,291	6,370,464
自己株式	△4,929	△4,929
株主資本合計	6,972,562	7,345,735
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,806	51,618
繰延ヘッジ損益	△437,728	△333,231
評価・換算差額等合計	△439,535	△281,613
少数株主持分	189,269	200,152
純資産合計	6,722,296	7,264,274
負債純資産合計	19,770,530	18,750,185

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	28,656,480
売上原価	25,371,284
売上総利益	3,285,196
販売費及び一般管理費	
貸倒引当金繰入額	487,693
報酬及び給料手当	849,203
賞与引当金繰入額	35,909
その他	2,119,305
販売費及び一般管理費合計	3,492,112
営業損失(△)	△206,916
営業外収益	
受取利息	9,270
受取配当金	2,789
持分法による投資利益	34,062
受取賃貸料	18,900
その他	24,491
営業外収益合計	89,513
営業外費用	
支払利息	93,899
為替差損	61,890
貸倒引当金繰入額	51,242
その他	42,286
営業外費用合計	249,317
経常損失(△)	△366,720
特別利益	
賞与引当金戻入額	5,653
特別利益合計	5,653
特別損失	
固定資産除却損	9,340
投資有価証券評価損	2,999
特別損失合計	12,340
税金等調整前四半期純損失(△)	△373,407
法人税、住民税及び事業税	6,569
法人税等調整額	△83,634
法人税等合計	△77,065
少数株主損失(△)	△3,067
四半期純損失(△)	△293,274

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△373,407
減価償却費	110,292
貸倒引当金の増減額(△は減少)	538,479
賞与引当金の増減額(△は減少)	△66,897
退職給付引当金の増減額(△は減少)	63,535
受取利息及び受取配当金	△12,059
支払利息	93,899
為替差損益(△は益)	42,871
持分法による投資損益(△は益)	△34,062
固定資産除却損	9,340
投資有価証券評価損益(△は益)	2,999
売上債権の増減額(△は増加)	△1,454,469
たな卸資産の増減額(△は増加)	747,877
仕入債務の増減額(△は減少)	1,015,947
その他の資産の増減額(△は増加)	△345,453
その他の負債の増減額(△は減少)	122,323
その他	△4,137
小計	457,080
利息及び配当金の受取額	13,730
利息の支払額	△93,732
法人税等の支払額	△13,119
営業活動によるキャッシュ・フロー	363,958
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△5,005
有形固定資産の取得による支出	△82,485
無形固定資産の取得による支出	△5,270
投資有価証券の取得による支出	△7,672
子会社株式の取得による支出	△1,300
投資有価証券の償還による収入	109,350
貸付けによる支出	△115,689
貸付金の回収による収入	150,899
その他の支出	△19,138
その他の収入	41,547
投資活動によるキャッシュ・フロー	65,236
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,838,000
短期借入金の返済による支出	△1,306,800
長期借入れによる収入	125,000
長期借入金の返済による支出	△791,122
社債の発行による収入	487,210
配当金の支払額	△79,785
少数株主への配当金の支払額	△5,656
財務活動によるキャッシュ・フロー	266,845
現金及び現金同等物に係る換算差額	△52,031
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	644,009
現金及び現金同等物の期首残高	1,487,272
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,131,281

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社グループは同一セグメントに属する食品等の製造、加工、販売を行っており、該当事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

2 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社および在外支店がないため該当事項はありません。

3 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他

生産、受注および販売の状況

当社グループ(当社および連結子会社)は単一セグメントに該当するため、品目別に生産、受注および販売の状況を記載しております。

(1) 生産実績および受注状況

当社グループのうち連結子会社において飲料製品(レギュラーコーヒー)の生産を行っておりますが、グループ事業全体における重要性が低いため、生産実績および受注状況については記載しておりません。

(2) 商品仕入実績

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
コーヒー生豆	3,496,134	95.18
飲料製品および原料	2,264,923	102.97
常温食品	6,646,553	97.08
冷凍食品	6,739,890	89.63
食品原料	4,859,063	94.62
その他	426,351	147.42
合計	24,432,917	95.21

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 上記のコーヒー生豆の金額には、飲料製品および原料の製品を連結子会社2社で生産するために使用する原料分を含んでおります。

(3) 販売実績

品目別	金額(千円)	前年同四半期比(%)
コーヒー生豆	3,753,147	101.37
飲料製品および原料	3,645,694	104.04
常温食品	7,608,940	100.25
冷凍食品	7,800,870	100.61
食品原料	5,344,268	96.94
その他	503,560	147.82
合計	28,656,480	100.89

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

「参考」

(要約)前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金 額
I 売上高	28,403,711
II 売上原価	25,283,983
売上総利益	3,119,728
III 販売費及び一般管理費	3,018,941
営業利益	100,786
IV 営業外収益	165,631
1 受取利息	8,927
2 受取配当金	2,761
3 持分法による投資利益	114,172
4 その他	39,770
V 営業外費用	127,223
1 支払利息	76,680
2 手形売却損	14,432
3 為替差損	15,560
4 その他	20,549
経常利益	139,194
VI 特別利益	9,033
1 固定資産売却益	70
2 投資有価証券売却益	720
3 貸倒引当金戻入益	8,243
VII 特別損失	6,474
1 固定資産売却損	6,275
2 固定資産除却損	91
3 投資有価証券評価損	108
税金等調整前四半期純利益	141,753
税金費用	156,378
少数株主利益	6,162
四半期純損失(△)	△ 20,787